

ハンガリー学会第6回研究大会・総会

開催のご案内

会員の皆様におかれましてはますますご清祥のことと存じます。

さて、すでにEメール等で連絡差し上げました通り、ハンガリー学会第6回研究大会並びに総会を、下記日程・会場にて開催いたします。また、大会終了後に懇親会を開催いたしますので、あわせてご参加いただきますようお願い申し上げます。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

プログラム

- ところ：長崎県立大学シーボルト校 西棟 W103 教室
- 総会 開催日時：2017年12月9日（土）11時～12時（予定）
（終了後約1時間、「カフェ・ド・ジーノ」にて昼食休憩）
- 研究大会 開催日時：2017年12月9日（土）13時～17時（予定）
（申し込み順。敬称略。時間は質疑応答・休憩込みです。配布用のレジメが必要な場合は、各自でご準備ください。）
 - 13:00-13:30 「ショムロー・ボードグの再評価をめぐって」
三苦民雄（愛知産業大学短期大学）
 - 13:30-14:00 「EUに越境する難民の現状と課題—ハンガリーの事例から—」
荻野晃（長崎県立大学シーボルト校）
 - 14:00-14:30 「ハンガリー語の格の三角形について」
田代直也（関西外国語大学）
 - 14:30-15:00 「ハンガリーの民話とキリスト教」
石本禮子（日本ウラル学会理事・ハンガリー学会名誉会員）
 - 15:00-15:30 「ハンガリーの宗教的民間伝承におけるイエス・キリスト—その光と影」
柴なほ（日本ウラル学会会員）
 - 15:30-16:00 「中央ヨーロッパ大学研究滞在報告」
神原ゆうこ（北九州市立大学）
 - 16:00-16:30 「戦前の日本・ハンガリー関係の見直しについて」
家田修（早稲田大学）
 - 16:30-17:00 「グラチアニ・ガスパールとオスマン・ハプスブルク帝国間の1615年ウィーン条約」
先浜和美（博士（文学））